平成30年度 協働事業提案制度 事業一覧

【区が提起する課題解決への提案事業】「食品ロス(フードロス)の削減」

1. 選定事業 1事業

受付 番号	提案事業名	申請団体	総事業費
1	キミマチプロジェクト IN 品川	(一社) リテラシー・ラボ (代表:千葉 偉才也)	¥858, 600

[事業概要]

- ①今後の主な消費者層となる青少年を対象としたワークショップを行い、課題解決のアイデアを形成 し、地域への提案を行う。
- ②ワークショップの内容をメイキング映像として残し、区イベントなどでの上映を通じて取り組みを 広く紹介する。
- ③ワークショップから生まれたアイデアの具現化までサポートを行う。

【実施に向けての意見】

- ・未来の消費者層の中核となる青少年を対象にワークショップを開催し、地域へ向けた提案へと結び付けていく内容を評価いたしました。
- ・ワークショップの成果となる課題へのアイデアを、事業または施策として具現化するまでのサポートについてもしっかりとお願いしたいと思います。

2. 不選定事業 2事業

受付 番号	提案事業名	申請団体
2	地域の居場所発信「もったいないグルメ」大会と食品ロスに関する地域課題の 解決	任意団体

[事業概要]

①普及啓発イベント

- 「もったいないグルメ大会」を開催し、区内の参加者からアイデアを募集する。
- 「もったいないグルメ大会」で、食品ロスに向けた地域課題解決の取り組みを発表する。

②データ整備

- ・「SHINAGAWA"もったいない"推進店」における食品残渣実態調査と地域における残渣減量への工夫調査を行い、一年間の活動実態の報告書作成。
- ・余った食材を活用した食品レシピ本を作成。

【不選定理由】

区の提案した課題に対して、解決のために様々なアイデアを提案されたことについて評価いたします。 しかし、残渣調査を経てのイベント開催について、スケジュールや人員体制など、面接審査では十分 な実施体制であると確認できなかったため、不選定とさせていただきました。 3

地域内飲食店を対象としたフードロス 対策事業

特定非営利活動法人

[事業概要]

- ①フードロス削減のためのデータ取得(対象飲食店にヒアリング・アンケート調査実施) 集計データからフードロスの削減へのアプローチの模索、普及方法の工夫を行う。
- ②「保険付き持ち帰りバック」作成と普及 海外で一般的なドギー・バッグを導入し、掛け捨ての保険を付ける。食品を持ち帰るリスクを解消 し、フードロスの削減が図れる。
- ③「事業者への教育機会(勉強会開催)」「マニュアルの作成」 事業者に対して、情報の提供、教育の機会を作る。同時にデータをもとに、事業者がフードロス削減を遂行しやすいようにマニュアルを作成する。

【不選定理由】

「フードロス削減のためのデータ取得」「保険付きドギーバッグの作成と普及」「事業者への啓発とマニュアル作成」の3点を一体として実施することで事業効果が得られるという提案ですが、日本ではまだ「ドギーバッグ」への認知・理解が十分でなく、導入には周知のための期間が必要と考えます。ドギーバッグの普及・啓発が不十分な現状での導入は尚早と判断し、不選定とさせていただきました。